

「アート・カフェ～『岩橋英遠』の人と芸術を語る～」開催について(報告)

- ◆日 時 平成21年2月21日(土) 14時～15時30分
- ◆場 所 道の駅たきかわ 研修室
- ◆講 師 河野敏昭(滝川市教育委員会学芸員)
- ◆内 容 コーヒーを飲みながら日本画家岩橋英遠氏について生い立ちや作品などをエピソードを交えて映像で紹介し、参加者がより深く英遠氏を考える機会とした。また、なぜ桜並木なのか?という疑問についてもわかりやすく解説がなされた。
- ◆参加者 29名(当日参加者含む)
- ◆開催状況(写真)





◆成果と課題

- ・アートギャラリー会場で、岩橋英遠氏について直接知る講師の河野学芸員が具体的なエピソードを交え英遠氏の人物像を描き出し、参加者も大半が地元江部乙の方ということもあって、身近な存在として感じられる雰囲気となった。
- ・お話と映像の組み合わせで、参加者も、実際に住んでいた風景や友人などを知っている様子が見受けられ、特に作品の解説では、岩橋画伯の素晴らしさを感じ取りながら聞き入っている姿が見受けられ、今後は本物の作品鑑賞会などを実施するなど、さらに岩橋画伯の芸術に触れる機会を提供していったらいいと思われた。
- ・江部乙の自然の素晴らしさ、そこで暮らしているということに自信と誇りを感じる時間となった。
- ・開始前にコーヒーサービスという予定がタイミングが遅れ、始めに集中する妨げとなってしまった。
- ・当日の一般参加者があり会場が一杯となり、会としては良い雰囲気となって地元で興味関心が少しずつ広がる雰囲気を感じた。さらに地域に根差した活動となっていくように桜並木造成事業と岩橋芸術のPRを根気よく行っていきたい。
- ・終了後のサポーター打ち合せについて声かけが足りなく、参加者が少なくなってしまった。雪解け後の活動再開に向けて、活動予定や連絡体制などが明確に桜サポーターに伝わるように会と桜サポーター世話人の連絡調整をしっかりと行きたい。